

令和6年度 第1回生涯学習センター運営審議会 会議録

- 1 開催日時 令和6年8月26日（月） 10時～11時30分
- 2 開催場所 中央生涯学習センター5階 人材かがやきセンター研修室
- 3 出席委員 18名
坪井委員長，若園副委員長，片桐委員，齋藤委員，上野委員，
寺山委員，阿久津秀雄委員，岡田委員，渡邊委員，菊地委員，
小曾戸委員，阿久津節子委員，斉藤委員，谷内委員，
半田委員，高橋委員，遠藤委員，上野委員

4 会議の公開・非公開の別 公開

5 傍聴者 0名

6 内容

・議事

【協議事項】

- (1) 令和5年度生涯学習センター事業運営の評価について
- (2) 令和6年度生涯学習センター事業実施状況（上半期）について
- (3) 令和7年度生涯学習センター事業運営の考え方（案）について

7 発言の要旨

| | |
|-------|--|
| 事務局 | 【生涯学習センター運営審議会について説明】 |
| 坪井委員長 | それでは、議事を進めて参りたいと思います。 円滑な議事進行ができますよう、委員の皆様のご協力をお願いいたします。 まず、協議事項(1)「令和5年度生涯学習センター事業運営の評価について」事務局から説明をお願いいたします。 |
| 事務局 | 【令和5年度生涯学習センター事業運営の評価について説明】 |
| 坪井委員長 | ありがとうございます。「令和5年度生涯学習センター事業運営の評価について」説明が終わりました。ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたら、お願いいたします。 |
| 遠藤委員 | 2点ほどございます。1点目は、各指標について、令和9年度の目標値と、各講座の満足度はどのように算出しているのか伺います。 2点目は、重点項目(1)の指標②に対する評価の「スマホ基礎講座などのデジ |

タルディバイド対策に取り組む必要がある。」という部分と、今後の取組方針の『『デジタル活用支援窓口』と役割分担を図りながら、個々の段階に応じたスマホ講座等を実施していく。』とあるが、デジタル政策課が取り組んでいる「宮デジサポーター」との連携の有無について伺います。

補足すると、宇都宮市議会の令和6年6月定例会の一般質問で山崎昌子議員から「宮デジサポーターのこれまでの成果と今後の取組について伺う」と質問があり、佐藤市長からは「宮デジサポーターの養成人数を拡充していく。」と回答しています。宮デジサポーターの活動としては、市が主催する講座の講師や補助員としての協力をしているところですが、この点を考慮して連携についてお考えがあれば伺います。

坪井委員長

ありがとうございます。事務局からご説明をお願いいたします。

事務局

まず、1点目の各指標の目標値と満足度ですが、目標値については、令和5年2月に策定した「第3次地域教育推進計画後期計画」に計上している事業と同じ目標値を設定しております。また、満足度につきましては、講座参加者にアンケートを取り、満足度についての質問への回答のうち、「満足」、「やや満足」と回答した方の割合から算出しています。

続いて、2点目の宮デジサポーターとの連携についてですが、今年度より不定期ではありますが各地区市民センターに「デジタル活用支援窓口」を開設しており、各センターで初心者向けのスマホ基礎講座を実施し、さらに応用編でステップアップ講座などを実施する予定であります。今後、公共施設の予約がデジタル化するということもあり、デジタル初心者への支援の必要性が高まることから、役割分担を図りながら、特にデジタル活用支援窓口や宮デジサポーターとの連携を図ってまいります。

坪井委員長

ありがとうございます。他にご意見・ご質問はございますか。

上野委員

1点ございます。各年齢層によって、どのような講座、どのような手法で実施され、満足度がいかなのでしょうか。資料1、2を見ると、シニア層と子育て世代向けの講座が多く、20～50代の働き世代を対象とした講座が少ないように見受けられるので、働き世代を対象とした講座の参加状況について伺います。

事務局

平日の日中に開催する講座が多いため、シニア層と子育て世代の参加者が多くなってしまうのですが、夜間や土日にも講座は開催しているところです。

多世代との交流として、講師や支援者として大学・専門学生や夏休み期間に開催する交流を目的とした講座では小中高生も参加しているところです。

働き世代への参加を促進させながら講座の実施に取り組んでいるところでございます。

| | |
|-------|---|
| 坪井委員長 | <p>ありがとうございます。上野委員よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、協議事項(1)「令和5年度生涯学習センター事業運営の評価について」は、この案を承認するというところで、よろしいでしょうか。</p> |
| 全員 | 異議なし。 |
| 坪井委員長 | <p>ありがとうございます。それでは、協議事項(1)「令和5年度生涯学習センター事業運営の評価について」は、承認といたします。</p> <p>次に、協議事項(2)「令和6年度生涯学習センター事業実施状況（上半期）について」、事務局から説明をお願いいたします。</p> |
| 事務局 | 【令和6年度生涯学習センター事業実施状況（上半期）について説明】 |
| 坪井委員長 | <p>ありがとうございます。「令和6年度生涯学習センター事業実施状況（上半期）について」、説明が終わりました。ただ今の説明につきまして、ご意見・ご質問等ございましたら、お願いいたします。</p> |
| 上野委員 | <p>各センターですごい実績をお持ちかと思いますが、資料1の各センターの実績のうち、「情報収集・提供」、「学習相談」とあります。各センターで行った講座や情報収集と提供、学習相談について、それぞれのセンターの好事例を共有することで、より良い事業の実施につながるかと思います。各センターの膨大な実績データをうまく活用して共有できれば、生涯学習がより地域に根付くかと思います。</p> |
| 坪井委員長 | ありがとうございます。事務局はいかがでしょうか。 |
| 事務局 | <p>ご提案いただきました各センターの情報の共有についてですが、市民の方から受けた学習に関する相談内容とその回答については、既に全ての生涯学習センターで共有するツールを導入しております。</p> <p>一方、講座の成功例や参加者の集め方といった好事例については、生涯学習センター運営審議会の場で共有している状況ですので、日常の事務の中で担当者レベルでも共有できる体制を整えてまいります。</p> |
| 上野委員 | <p>毎年、生涯学習センター運営審議会で作成している資料をデータベース化することで、今後にも活かせると思うので、その整理や共有の仕方を工夫してください。</p> |
| 坪井委員長 | <p>ありがとうございます。上野委員よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、協議事項(2)「令和6年度生涯学習センター事業実施状況（上半期）について」は、この案を承認するというところで、よろしいでしょうか。</p> |

| | |
|-------|--|
| 全員 | 異議なし。 |
| 坪井委員長 | <p>ありがとうございます。それでは、協議事項(2)「令和6年度生涯学習センター事業実施状況（上半期）について」は、承認といたします。</p> <p>最後に、協議事項(3)「令和7年度生涯学習センター事業運営の考え方（案）について」、事務局から説明をお願いいたします。</p> |
| 事務局 | 【令和7年度生涯学習センター事業運営の考え方（案）について説明】 |
| 坪井委員長 | <p>ありがとうございます。「令和7年度生涯学習センター事業運営の考え方（案）について」、説明が終わりました。ただ今の説明につきまして、ご意見・ご質問等ございましたら、お願いいたします。</p> |
| 遠藤委員 | <p>2点ございます。1点目についてですが、講座実施にあたってのポイントのうち、働き世代やプレシニア世代の参加促進として、土日や夜の講座の開催とあります。令和7年度に開催を予定している講座について教えてください。</p> <p>2点目は、参加者の状況やレベルに見合った講座の実施として、ステップアップ講座などを実施とあります。これについても、令和7年度に開催を予定している講座があれば、講座名や内容などを教えてください。</p> |
| 坪井委員長 | ありがとうございます。事務局はいかがでしょうか。 |
| 事務局 | <p>令和7年度の事業計画については、10月の予算要求に向けて予定を立てていくものでありまして、今回の協議事項はこの考え方でよろしいかとお諮りする内容でありますことから、现阶段で具体的な計画が決まっている講座はありません。予算要求の時期に合わせて講座を計画してまいります。</p> |
| 坪井委員長 | 2月の運営審議会で具体的な計画が分かるという認識でよろしいでしょうか。 |
| 事務局 | その通りです。 |
| 坪井委員長 | ありがとうございます。他にご意見・ご質問はございますか。 |
| 上野委員 | <p>重点項目(1)に関連した、地域教育推進計画後期計画の基本指標「主体的に学習に取り組んでいる市民の割合」については、どのような方法で、どのような基準で算出するものですか。例えば、講座に参加した、本を読んだなど、簡単なことも含めて学習に取り組むとするのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>市政に関する世論調査において、無作為に選ばれた市民の方の回答から算出</p> |

しています。

委員のおっしゃる通り、生涯学習は広く学習を扱うものであるため、読書活動も含まれます。参考までに、令和5年度の結果は38.5%でした。

上野委員

この数字を出して何に活用するのでしょうか。具体的な生涯学習活動が活発になっていることを表すのか、単に50%の市民が学習したと捉えるのか、いかがでしょうか。

事務局

第3次地域教育推進計画後期計画のうち「一人ひとりが自己実現や生活の向上、地域社会の発展に向けて主体的に学習に取り組んでいます。」という基本目標1の達成度を定量的に測るために、指標を定めております。この指標によって、どのくらいの市民が生涯学習活動に取り組んでいるのか、取り組めていない方に対してはどのような施策が有効なのかを考えていきます。

坪井委員長

ありがとうございます。他にご意見・ご質問はございますか。

寺山委員

上野委員の質問と重なる部分がありますが、重点項目(3)に関連した地域教育推進計画後期計画の基本指標「地域に貢献する活動に参加している市民の割合」とあります。みなさんご存じのとおり、地域の役員はものすごく疲弊しています。役員だけが頑張っていて、体感では30%も地域活動に参加していないように感じます。この「地域に貢献する活動」とは具体的にどのような活動でしょうか。役員として活動している人なのか、ボランティアで参加してくれている人も含むのか、いかがでしょうか。

事務局

第3次地域教育推進計画後期計画のうち、「多様な主体や人がつながりを深め、様々な場面で学んだ成果を生かして活動しています。」という基本目標3の指標であり、「市民協働推進計画」と連動した内容であります。市政に関する世論調査において、地域活動に参加しているか、といった設問への回答から算出しているため、自治会活動だけでなく、幅広い地域活動を含んだ数字になっています。

坪井委員長

その指標については、学んだ成果を生かした活動とありますので、母数は生涯学習センターで学んだ方という認識でよろしいでしょうか。

事務局

市政に関する世論調査はもっと広い方を対象としています。

寺山委員

各センターの所長のお話を聞いていて、デジタル化していくのは結構ですが、地域は顔を見ないといけないと思います。地域の絆の深まりやつながりづくりをすることで、将来的に地域を支える人材育成に取り組んでほしいと思います。

| | |
|--------|---|
| 渡辺委員 | 地域教育推進計画の基本目標全般にでてくる「市民」とは何歳からが対象ですか。 |
| 事務局 | 市政に関する世論調査は、18歳以上の成人を対象としています。 |
| 坪井委員長 | ありがとうございます。他にご意見・ご質問はございますか。 |
| 若園副委員長 | <p>3点あります。1点目は提案になるのですが、今回の運営審議会では各指標の達成度による評価など、定量的な評価をしているところですが、実現は難しいかとは思いますが、今後、委員とセンターでワークショップ形式の運営審議会を開催してはいかがでしょうか。相互に話し合うことで、数字には表れない成果や課題の共有が期待できるかと思えます。</p> <p>2点目は、重点項目(1)において、デジタルの活用とありますが、生涯学習においては「仲間づくり」が非常に重要になってくるため、このデジタルの活用と仲間づくりをどう両立させるかについて伺います。</p> <p>3点目は、生涯学習センターの役割として、多様な学習機会の提供を通じた意識醸成のうち、「人権教育などをアイスブレイクで取り入れる」と説明がありましたが、アイスブレイクは通常ワークショップの頭でやるものかと思えますが、人権問題との関連がよくわからないので教えてください。</p> |
| 事務局 | <p>1点目の運営審議会の形式については、今後の審議会の運営に対するご意見としていただきます。</p> <p>2点目のデジタルの活用と仲間づくりについてですが、生涯学習センターは参集式で講座を開催しており、デジタルに関連する講座も同様です。その集まっていた場で仲間づくりを促進していただけたらと思えます。</p> <p>3点目のアイスブレイクについては、人権教育などの専門的な内容に親しみを持ってもらう機会の創出ということで、このように表現しておりましたが、「アイスブレイク」というよりは「導入」のほうがふさわしい表現になります。</p> |
| 坪井委員長 | ありがとうございます。他にご意見・ご質問はございますか。 |
| 上野委員 | 私が住んでいる陽光地区でも、デジタル化に取り組まなければならないと思いますが、地域の若い人からの意見で、若い世代に地域の情報が伝わっていないという課題が出てきました。回覧板を回しても、家族のうち1人しか見えないという事例もあるので、デジタル化することで後からでも検索できる、データが蓄積できるという利点があるなど感じています。この情報発信というのが非常に重要だなと思いました。 |
| 坪井委員長 | 貴重なご意見ありがとうございます。ぜひ、事務局の皆様や生涯学習センター職員の皆様には、ご参考にしていただければと思います。 |

それでは、協議事項(3)「令和7年度生涯学習センター事業運営の考え方(案)について」は、この案を承認するという事で、よろしいでしょうか。

全員

異議なし。

坪井委員長

ありがとうございます。それでは、「令和7年度生涯学習センター事業運営の考え方(案)について」は、承認といたします。

以上をもちまして、本日予定していました内容はすべて終了いたしました。委員の皆様、円滑な会議の進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。それでは、進行を事務局にお返しいたします。よろしくお願いいたします。

事務局

坪井委員長、委員の皆様、大変ありがとうございました。事務局から事務連絡がございます。

【広報誌栃公連第66号、次回の会議日程についての説明】

それでは、以上をもちまして、令和6年度第1回宇都宮市生涯学習センター運営審議会を閉会させていただきます。本日は、長時間にわたり、ご審議をいただきまして、誠にありがとうございました。